

## JSAF レース委員会 外洋小委員会 経緯

NORC 時代、各地の団体は支部であり全国組織は1つの団体でした。よって全国統一的な規則や規定の運用は容易でした。しかしJSAF への統合後、各地の支部はそれぞれ加盟団体という独立した団体となりました。JSAF の加盟団体という共通点はありますが、個々の加盟団体は組織上無関係の団体となりました。

JSAFはMNAとしてRRSやJSAF規則等日本国内で行われるヨットレースが参加者に公平・公正・安全に行われる為に、主催団体のレベル向上と標準化に向けた資料を提供する為に専門委員会を設置しています。そのひとつが、このJSAFレース委員会です。

JSAFレース委員会は、上記目的の為に組織された委員会であり、実際にレース運営にあたる主催団体が任命するレース委員会とは異なります。

JSAF レース委員会メンバーは各外洋加盟団体レース担当者がメンバーとなっていました。外洋系加盟団体の参加が非常に少なく（2009年外洋系出席者は3名。）欠席の連絡もありませんでした。その結果、JSAF レース委員会でも外洋レースでの問題点等議案にもなりませんでした。

そこで 2011 年度から全ての外洋加盟団体からの参加は期待出来ないとの理由で水域代表（東北・北海道、関東、中部、関西、九州・沖縄の 5 水域）を決め、JSAF レース委員会のメンバーとして登録することになりました。

現状の小委員会メンバー（H26,27 名簿参照）で、外洋系加盟団体レース担当者は 15 名中 4 名のみです。残り 11 名は他の専門委員会、また、協力してくれる人材は拒まずメンバーになって頂いています。

メンバーの協力もあり 2011 年には HP も立ち上げ、他の専門委員会との協力資料等も制作して現在に至っています。

昨年の合同委員会でも協力をお願いをしましたが、連絡すらほとんどなく状況に変わりがありません。今年は、JSAF レース委員会メンバーの更新時期でもあり 2017 年の RRS 改訂、外洋レースでの諸問題解決の為にも今後ご参加頂けるようお願いいたします。